

● 回路を作ろう

それでは、回路を作ります。完成すると図5-5のようになります。

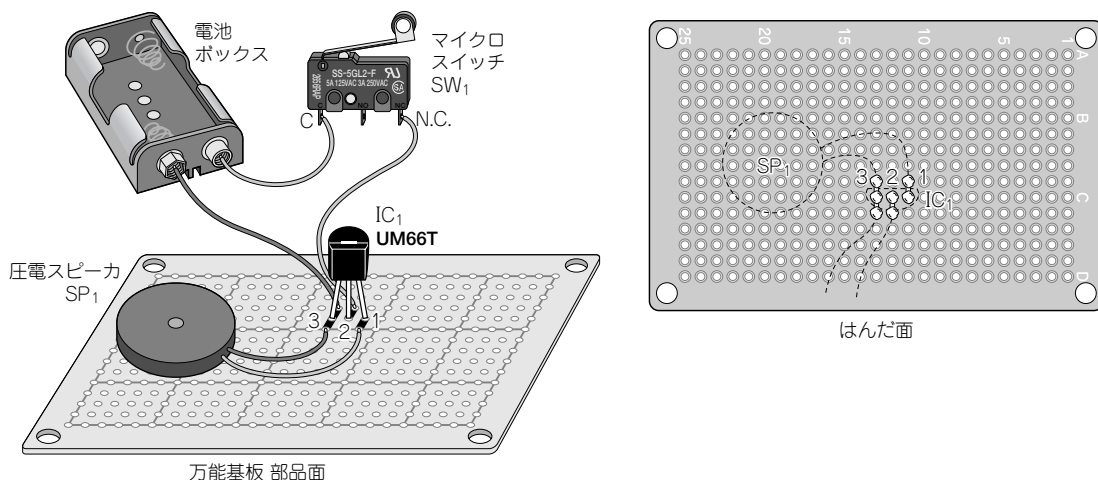


図5-5 回路の完成イメージ

● 部品を準備する

① 圧電スピーカから出ているビニール線が長ければ短くし(3[cm]程度で十分)、端の被覆をむきます。



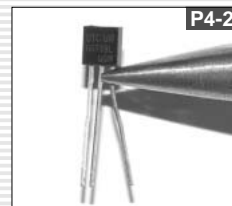
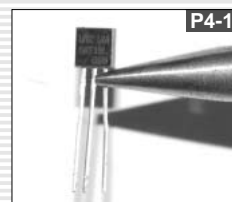
② 赤いビニール線(AWG28)は8[cm]に切り、両端の被覆をむきます。



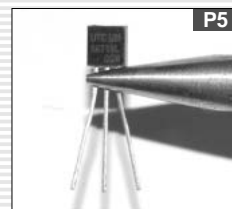
③ 圧電スピーカのビニール線と、赤いビニール線に予備はんだをします。電池ボックスについては、購入時のビニール線の長さがちょうどよく、先端がはんだメッキされていたので、そのまま使いましたが、必要なら同様に被覆をむき、先端を予備はんだをします。



④ ICの足を曲げます。ラジオ・ペンチで足をはさみ、手で軽く曲げます。



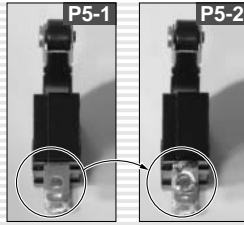
⑤ もう片側も曲げます。



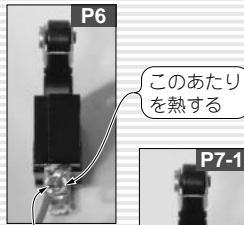
● スイッチと電池ボックス、ビニール線をつなぐ

電池ボックスからの赤いビニール線と、両端をはんだメッキして用意した赤いビニール線を、スイッチのC端子とN.C.端子につなぎます。どちらの線をどちらの端子につないでもかまいません。

① スイッチの端子に、穴を残して予備はんだをします。



② ビニール線をスイッチの穴に挿します。



③ スイッチの端子とビニール線を同時にコテ先で熱して、つなぎます。はんだが少なすぎたなら、少しはんだを足します。もしスイッチの端子の穴がはんだで埋まったときは、端子を熱してはんだが溶けている間にビニール線を穴に差し込んでもかまいません。



④ もう一方の端子も予備はんだをします。



⑤ ビニール線を穴に挿し、端子と線を同時にコテ先で熱して、つなぎます。これで完成です。

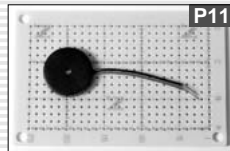


● 基板に圧電スピーカとICの配線をする

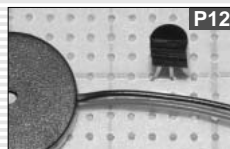
① 圧電スピーカの裏面に両面テープを貼り、



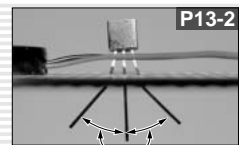
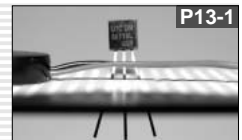
② 基板に貼り付けます。



③ ICを基板に差し込みます。連続している三つの穴を使います。



④ 基板の裏側で少しICの足を広げます。こうすると基板を裏返してもICが落ちなくなって、はんだゴテを当てても動きにくくなります。



(少し広げる)